



たなばた

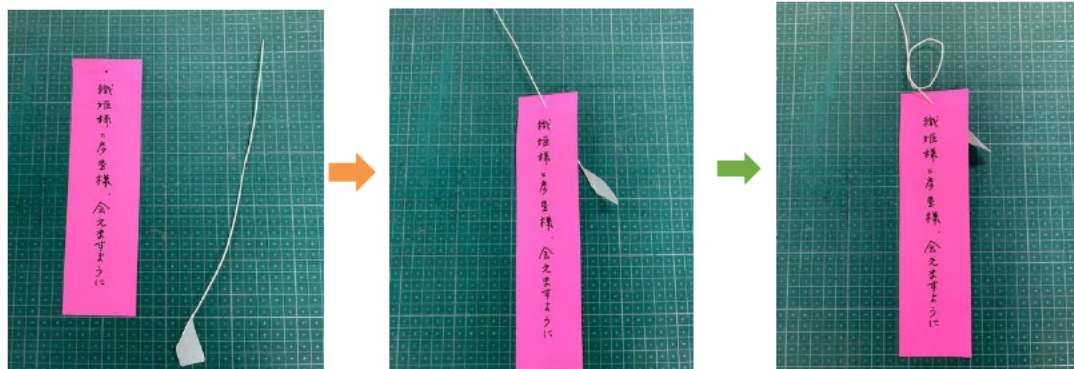
園長 山中 文

雨が続いています。九州地方では避難が続いているようで心配されるところです。もうすぐ七夕ですが、天上でも気が気でないかもしれません。

七夕といえば、七夕飾りがあちこちに見られます。本園でも各クラスに竹が設置され、保護者の方々にも協力していただいて、たくさんの願いごとや飾りがかけられています。

この頃はお家で七夕飾りをされないことも多いからか、こよりを作って短冊につける、という昔からのやり方がうまく伝わらなくなってきました。こよりを短冊にセロテープでつけたり、短冊を半分に折ってこよりをその中に通したりというようなものも見かけます。

簡単なこよりでしたら、実はすぐにできます。ティッシュを1枚に分け、それを縦半分に切って、指でくるくるとねじるように巻き、最後少し巻かずに残します。これだけです。折り紙を半分に切って短冊形にし、ボールペンの先のようなもので突き刺して小さな穴をあけ、後ろからこよりを通して、巻かずに残した部分でストップさせると、短冊飾りもできあがりです。



1 短冊に小さな穴をあける

2 こよりを後ろから通す

3 巻き残した部分までで止める

あちこちの短冊にはいろいろな願いごとが見受けられます。「〇〇ちゃんと夢の中で会えますように」というような願いごとを見ると、とても仲がいいお友達かな、とほほえましくなります。

そういえば、我が家の息子が小学校5年生の時、参観日に学校に行くと、七夕飾りが飾り付けられていました。「野球がうまくなりますように」とか「背が高くなりますように」というような子どもたちそれぞれの願いごとを楽しく見ていたら、その中に「家内安全」というのがありました。ウチの息子です。帰って、どうしてそう書いたのか聞くと、「参観日だからかっこいいのにしようとして、神社のお札を思い浮かべたの。そしたら、もう弟がいるから『安産祈願』じゃないし、『縁談成就』もいないよね。病気もないから『無病息災』もまあいいか、と思って。ちょうどいいのが『家内安全』かと思ったんだ！」とのことでした。「うーん、消去法で考えたかあ。飾り付ける前にことばから飾ったのね」と唸ってしまいましたが、本当に願っていたのは「サッカーのドリブルがうまくなりますように」ということだったそうで、子どもらしい願いごとでも聞くことができほっとしたことでした。

みなさまのお宅のお子様たちの願いごとはどうでしたでしょうか。幼児期は、小学生とはちがってストレートなことばが出てくるかと思います。どうか可愛い願いがかないますように！